

あらかき通信



(株)アラクキ工務店 編集・発行 村上 幸男

〒615-0906 京都市右京区梅津高畝町 52-2

Tel 075-882-8668 Fax 075-872-0223

<http://www.kyoto.zaq.jp/araki/>
info@kyoto-kozai.com

今日は、施主さんから「大工の〇〇さん、年取ったねえ」と、言われました。長いお付き合いをしていると、いろいろな方の人生のステージにお邪魔しているのを感じます。

「厳しかった大工さんも、丸く優しくなったね」といわれ、ふむふむなるほどとうなずいてしまいました。そういう私も老けましたが、施主さんも一緒。その間に子供たちが結婚し、孫ができ、周囲にビルが立ち並んで昔の面影がなくなりつつあります。紅葉が散る時期になり、少し感傷的になりました。



そうしたビルの合間に残る古いお住まいを直す仕事に誇りをもって取り組んでいます。年をとってもがんばろうという気持ちは変わりません。みなさんは、いかがでしょうか？

大工のうそ なにげに、京都新聞を読んでいると、弊社会長の名前がいきなりでてきてびっくり。「町家棟梁」は売れているのでしょうか？ ちょっと嬉しくなりました。みなさんにもご一読いただきたくここに再掲します。ご興味がありましたら、購入してくださいね♪

2015年(平成27年)11月7日 土曜日 京 府 新 聞

凡 語

「大工のうそ」というせりふが山田洋次監督の映画「おとうと」にあつて印象に残っている。主人公の家の洗面所のドアが開きにくいを見て、若い大工が言う▼ドアは垂直に取り付けるものだが、重みで傾くのを計算してほんの数ミリ上へ傾けて付けると良い。「これを大工のうそという」と胸を張るシーンである▼京都府の現代の名工、荒木正良さん(82) 〓京都市右京区〓は、大工には何百年前からの決まりごとがあり、それを守らんといいかん、という。木の性質や経験を踏まえた決まりであつて、しっかりした理由がある(「町家棟梁」学芸出版社)▼屋根の破風の合端あいはの上にすき間を作っておくのは、木の含水率を想定してのこと。3年もすればピタリと納まる。「これは棟梁の仕事です」との言葉に誇りを感じる▼さて、マンションのくい打ち不正と「ゲータ改さんである。見えない所こそ手を抜かないのが大工のプライドだが、マンションはどうか。業者幹部がいみじくも漏らした、「してしまふ環境」が広がっていないか▼荒木さんは、京の町家では出入りの大工と施主が家を長持ちさせる付き合いをしてきたという。はたしてマンション建設の際、居住者の顔を思い浮かべることはあるだろうか。文字通りのうそをついてしまふ環境が、そこにある。

Y邸新築工事

町家の改修風景をお伝えすることが多いので、今回は新築工事の一例をご覧頂こうと思います。

建物の規模は木造2階建（延床面積 90 m²程度）、ご夫婦とお子様2人の4人家族のお住まいです。

主な仕様は、床はナラ材フローリング、内壁はPB下地にEP（エマルジョンペイント）塗装仕上げ材・建具類に米トガ材・米杉材、そして階段・カウンター類にはタモ集成材というよく一般住宅で用いられている仕様です。

特別高価な材料は使わず一般的な仕上材を利用して、いかに「程良く木を感じられる家」にできるか！ということコンセプトに計画させて頂きました。

この「木を感じる」イコール木材を多用すれば簡単ではないか、と考えがちですがそうした場合、どうしてもお部屋の雰囲気重たくなり、ログハウスのような感じになってしまいます（コストもUPします）。

今回はそれとは違い、「程良く」というイメージが大切ですので、清潔感ある白い壁の中に、手や足に触れる要所にいかにバランス良く木が使われているか、ということがポイントとなります。

2F吹抜けの天井にはラワンベニヤ、家具にはシナベニヤを貼ったりと、ホントに木？と言われそうな材料ではありますが、こちら予算を出来るだけ上げずに木質感を出すということに十分な効果を発揮してくれます。

一般的な材料だけを使った住宅でも、使用するポイントや面積をバランス良く配置すれば「程良く木を感じられる家」が可能だということを実現できた建物になったと思います。



工事をお考えで「木を使うと高くなりそうだ」と悩んでられるお客様がいらっしゃいましたらお気軽にご相談頂けると幸いです。

米沢 和也

住まいについてのいろいろな話(耐震診断について) 第 17 回

☆☆

今回は、耐震診断をしてきて感じたことです。耐震診断士制度ができてから約 20 年になります。診断をするに当たり、木造の建物は大きく分けると 3 つになります。

- ① 昭和 25 年 11 月以前の建物（京町家伝統工法）
- ② 昭和 25 年 11 月以降 昭和 56 年 5 月以前の建物（木造住宅在来工法）
- ③ 昭和 56 年 6 月以降の建物（木造住宅在来工法）です。

この中で今、行政が無料診断を実施しているのが①と②です。とてもお得です。

① 昭和 25 年 11 月以前の建物（京町家伝統工法）は、柱が石の上に立ち、壁は土壁で塗られています。限界耐力計算という難しい診断法でいくつか診断しましたが、間口が広いと壁を作る場所ができ、とても良くなります。細長い家だと、どうしても悪くなります。よって、町家格子のない大塀造りの京町家などは、正方形に近いものも良くなります。意外と連棟でも正方形に近い場合は、良い結果が出たことがあります。

② 昭和 25 年 11 月以降 昭和 56 年 5 月以前の建物（木造住宅在来工法）は、基礎があり土台があり、アンカーボルトなどで固定されています。一般診断法という比較的に簡単な方法で、これもいくつか診断しましたが、どうも建物が古いほど土壁が併用されていて、建物が重くなり悪くなります。これも複雑な平面でなく正方形に近いほど、壁のバランスが、向上するので良くなります。樋や壁が傷んでいるなど劣化している場合があります。

③ 昭和 56 年 6 月以降の建物（木造住宅在来工法）は金物が多用され、基本しっかりしています。阪神大震災でも、これ以降に建てられた建物は被害が少なかったです。壁のかたより劣化などが無いが、確認すると良いでしょう。

大きな吹き抜けがあったり、2 階の壁と 1 階の壁の位置がずれているなども、具合が悪いそうです。雨もりやシロアリの傷んだところがなく、建物が正方形に近くあるいは壁のバランスが良い建物が、良い結果がでます。

荒木 智



濡れ縁框の取替え工事中



得意先の濡れ縁の框が雨にたたかれて痛んだので新しく取替え作業中です。

材料は桧無地材 平面は桎目で、側は板目。既存框は両ホゾ差しなのですが入替えはそうはいきませんので、両ヤトイホゾにして、前から真っ直ぐに入れて納めます。

とここまでは私の指示で、後は作業する大工さんの考えに任せます。最後は丈夫で綺麗に交換できれば良しです。

学生のインターンシップ

大学生や高校生が授業の一環として、企業や商店で一定期間、体験作業をして単位を取る事としています。

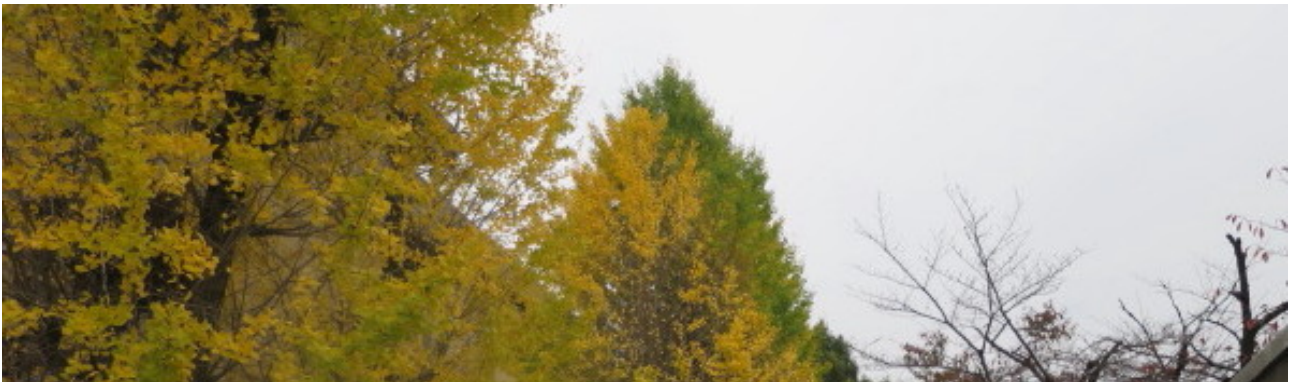
私も時々得意先の何社かで、インターンシップと思われる若い子？というよりも学生そのものの人達を見かけます。

多くは、私たちを見かけても大きな声で「おはようございます～ありがとうございます」と言ってくれて、あ～可愛らしいな～と思います。

弊社にも先日インターンシップを受け入れた高校から、1週間学生が来ました。最初は工場での作業の手伝い、次は現場での大工さんの手伝いと掃除・片付けなどです。

電動工具や鑿のような刃物は持たせられないので、掃除と片付けがメインですが、大工さんの仕事ぶりを見るのがこれが一番の適役です。

サテ、何か得るものを感じてくれたでしょうか？お金を頂く仕事は厳しいものだということが。



編集後記

秋口になり何かと忙しく、あらし通信の編集も遅れがちで事務方から催促が有り、これもグズグズと延ばしていると、いよいよこれではダメと判断され、私以外の3人のものに各1頁ずつ割り当てて、私は最後のページの担当で書くことになりました。

今、締め切りの最終日に書いていますが、1～3ページはそれぞれいつもと違う文体で、目新しい感じが出て良かったと思い、次からは遅れないようにしなければと決意しています。

正月明けのお仕事の相談も幾つもお聞きして、さあ年内にどこまで打合せが出来るかな、頑張ろうと思っているこの頃です。

村 上